

後発医薬品（ジェネリック医薬品）を利用しましょう

住民課 内線 248

少子高齢化が進むなか、今後も医療費の増加が予想されます。薬代を軽減することで日本全体の医療費を削減することができます。自己負担分を除いた医療費は、みなさまが支払っている保険料や税金で運営されている各医療保険から支払われています。医療費の削減で医療保険の支払い額を抑えることにより、それに投入されている保険料や税金の負担減につなげることにもなります。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは？

「後発医薬品」とは、有効成分の特許が切れた「先発医薬品」（最初につくられた薬）と同じ有効成分を同じ量含み、開発元とは別の製薬会社が製造・供給している医薬品のことです。一般的には「ジェネリック（generic = 一般的な）医薬品」と呼ばれています。

効果や安全性は大丈夫？

有効性・安全性に実績のある先発医薬品と同じ有効成分を同じ量含み、同等の効用を持っています。また、有効性・安全性・品質は厚生労働省により厳格な審査がされている医薬品なので、安心してお使いいただけます。

値段はどうなるの？

医薬品の研究開発には莫大な開発費用がかかり、その費用が医薬品の価格に反映されています。後発医薬品はすでに有効性・安全性が確認されたものを使用するので、開発期間や費用を大幅に抑え、医薬品の価格を4割程度安くすることができます。

使うにはどうすればいい？

診察の際に、後発医薬品への切り替えの意志があることを医療機関に伝えましょう。後発医薬品の使用に不安がある場合も医師に相談してください。また、薬局で薬をもらうための処方せんに医師の署名やチェックが無い場合は薬局で後発医薬品に切り替えることもできますので、薬剤師に相談してください。

ご注意ください！

すべての医薬品に、後発医薬品が存在するわけではありません。有効成分や効果は先発医薬品と同じですが、その他の添加物の違いから先発医薬品と飲み合わせ等が異なる場合もあります。また、アレルギーなどがある場合は後発医薬品を選択できないこともあります。

▼問い合わせ 産業環境課
※地域経済活性化のため、町内に本社のある施工業者を利用した工事を対象とします。
※申請していない工事や、交付決定前に施工された工事については助成できません。
※工事内容により助成できないこともありますので事前にご相談ください。

既存の自己所有住宅の修繕・補修対象経費の最大20%を助成します。（最大上限は20万円です。）

省エネエアコン、節水型トイレ、高効率給湯器への入替や、障子、ふすま、クロスの張替にご利用ください。

扶桑町環境にやさしい住宅改善促進事業補助金について
産業環境課 内線2272

この調査は、日本の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的として、統計法に基づき実施する国的重要な統計調査です。皆様により便利にご回答いただくため、パソコンやスマートフォンを使って、簡単に回答することが可能となっています。9月下旬から、調査員が調査をお願いする世帯に伺いますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いいたします。

就業構造基本調査を実施します

産業環境課 内線2273